

オーバーシー・チャイニーズ銀行(OCBC)

インフレ緩和見通しは利ざや拡大に逆風も、シンガポール生命保険業界リーダーを擁してウェルス・マネジメントで成長
 シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG OCBC:SP | REUTERS OCBC.SI

- 2023/12期1Q(1-3月)は、総収益が前年同期比26.7%増、純利益が同38.6%増。純金利収益が同56%増、経費率が同8.5ポイント改善した。
- 純金利マージン(NIM)は金融引締め継続を背景に1Qが同0.75ポイント上昇の2.30%へ拡大も、金融当局は4月に金融政策維持へ方針修正。
- 銀行と生命保険の両部門でウェルス・マネジメントの管理資産および収益が拡大。シンガポールの生命保険は投資目的でも注目度が高い。

What is the news?

5/10発表の2023/12期1Q(1-3月)は、総収益が前年同期比26.7%増の33.50億SGD、経費率が同8.5ポイント低下改善の37.1%、貸倒損失引当金繰入額が同2.5倍の1.10億SGD、純利益が同38.6%増の18.79億SGD。シンガポール金融当局による金融引締めの継続を背景とした純金利マージン(NIM)の拡大が寄与して増収。経費率の大幅改善に加え、関連会社からの持分法投資利益も同2.4%増(2.60億SGD)と増益に貢献した。前四半期比では、総収益が2.0%減も、純利益が43.9%増と伸びた。3月末不良債権比率(NPL)も前期末比0.1ポイント低下の1.1%と改善した。

1Qの総収益の内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比56%増の23.38億SGD。貸出残高は同横ばいだったものの、純金利マージンが2.30%と同0.75ポイント拡大したことが増収に貢献した。②非金利収益は同11%減の10.12億SGD。その内、トレーディング収益が同12%増の2.51億SGDと伸びたものの、主力の手数料・コミッション収益が同20%減の4.53億SGDだったこと、および、生命保険・損害保険からの収益が同28%減の2.38億SGDだったことが響き減収となった。

How do we view this?

2023/12通期会社計画は、期末貸出残高伸び率が前期比1桁台前半、純金利マージン(NIM)が2.20%、信用コスト(bps:ベース・ポイント、1bpsが0.01%)が15~20bps(1Q実績:12bps)である。

シンガポール通貨金融庁(MAS)は4/14、2021年10月に引締めへ転じて以降5回連続で引き締めてきた中で金融政策を維持すると発表。インフレ緩和を見込む姿勢を示した。OCBCにとってはNIMの拡大に頼ることは難しくなるとみられることから貸出残高増加が経営課題となろう。

同行は、ウェルス・マネジメント関連業務の管理資産額が3月末で前年同期比7%増の2700億SGDに拡大。銀行と生命保険の両部門からのウェルス・マネジメント収益が同21%増の11.02億SGDと伸長。DBSホールディングスやユニテッド・オーバーシーズ(UOB)とともにシンガポール大手3銀行と称される中で、傘下に同国の生命保険業界のリーダーであるグレート・イースタン・ホールディングスを擁している点に特徴・強みがある。シンガポールの生命保険は、返戻金の払込み保険料総額に対する比率(返戻率)が相対的に高く、世界の富裕層を中心に投資・運用目的で高い注目を集めている。同行の成長への原動力となろう。

業績推移

※参考レート 1SGD=101.40円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
当期利益(百万SGD)	3,586	4,858	5,748	6,885	6,928
EPS(SGD)	0.80	1.07	1.27	1.53	1.54
PER(倍)	15.40	11.51	9.70	8.05	8.00
BPS(SGD)	11.09	11.72	11.81	12.41	13.15
PBR(倍)	1.11	1.05	1.04	0.99	0.94
配当(SGD)	0.32	0.53	0.68	0.77	0.78
配当利回り(%)	2.60	4.30	5.52	6.25	6.33

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.77** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **12.32** 2023/5/10

会社概要

1932年に3つの国内銀行が合併し設立。銀行、生命保険、損害保険、資産管理、投資保有、先物・株式仲介の事業を行う。5つの事業セグメントを通じて運営する。

①グローバルコンシューマー/プライベートバンキングセグメントは、個人顧客に製品とサービスを提供する。

②グローバルコーポレート/インベストメントバンキングセグメントは、大企業や公共部門から中小企業までの機関顧客にサービスを提供する。

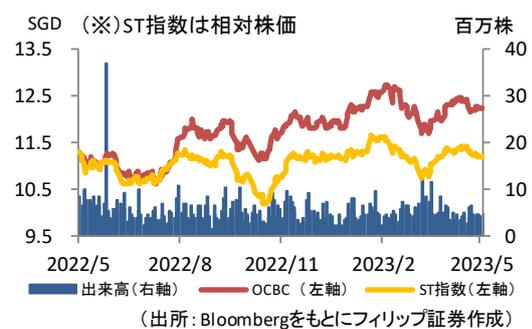
③グローバルレジャー・アードマーケットセグメントは、外国為替活動、マネーマーケットオペレーション、債券およびデリバティブ取引を行い、ストラクチャードレジャー商品および金融ソリューションを提供する。

④保険セグメントは、生命保険と一般保険を提供する。

⑤OCBC Wing Hangセグメントは、各商業銀行と関連金融サービスを提供する預金、法人・個人向け融資、投資銀行、プライベートバンキング、国際貿易金融、アセットマネジメント、株式注文取次、保険などのサービスを提供する。

企業データ(2023/5/11)

ベータ値	1.11
時価総額(百万SGD)	55,341
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	65.7



主要株主(2023/5)

1.SELAT PTE LTD	14.43
2.LEE FOUNDATION SINGAPORE	4.21
3.VANGUARD GROUP	2.79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。